

■ 開発車両でレース完走し「自工会会長賞」

広島工業大学

小型レーシングカーの設計・製作・評価・改善を通してものづくりを実践する「学生フォーミュラ日本大会」に参

戦した学生チームの車両が、8つの審査項目すべてを完遂・完走して「日本自動車工業会会長賞」に輝いた一写真。

この大会は8月下旬、静岡県・小笠山総合運動公園で5日間にわたり開かれ、同大の学生12人で編成するHITフォーミュラチームなど国内外から約100チームが参加。コスト算出や設計の妥当性、プレゼンテーション能力の3項目の静的審査と、



加速やコーナリングなど走行性能、燃費など5項目の動的審査を競った。同大車両が最終走行を終えると後輪ハブシャフトは破損寸前だったが、全項目クリアを果たした27台の中に入り会長賞を受賞した。総合順位は51位だった。チームは2008年に発足し、今年が8度目の出場。